

令和6年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

関ヶ原町青少年健全育成委員会

1 はじめに

関ヶ原町青少年健全育成委員会では、『**青少年 地域で守ろう 育てよう**』のテーマのもと、年2回の委員会<5月下旬、2月下旬>と6月上旬の青少年健全育成大会を行い、部会の活動として、中学生の下校の見守りや「あったかい言葉かけ運動」の推進に取り組んでいます。また、今年度から、地域の子どもと大人のふれあいの場の一層の充実を図っています。今回は、その取組の一部について紹介します。

2 「子どもと大人のふれあいを深める」取組に至る経緯

地域での大人と子ども或いは子ども同士の交流は、思いやりや感謝の気持ち、礼儀等を身に付ける貴重な機会であり、青少年健全育成の大きな柱です。しかし、近年、少子化や指導者の高齢化などによって、スポーツ少年団や子ども会等の青少年団体にとっては、コロナ禍の影響もあり、従来の活動が難しくなったため、交流の機会が減少しています。

そこで、本委員会では、昨年度2月の委員会で問題を提起し、地域の子どもや大人がふれあいを深めていくための方策について考えを出し合い、今年度5月の委員会で、各々の団体の年間計画を交流し、互いに協力できそうなことを話し合い、個々の団体が互いに連携を密にして実践に努めています。

3 具体的な実践

(1) スポーツ少年団の取組への協力

例年、4月の入団式にはスポーツ少年団に所属する児童だけが参加していましたが、今年は団員以外の園児・児童も参加できる「スポーツフェスティバル」を開催しました。前半は、スポーツクラブの方にお世話になり、100人近い子どもたちが運動を楽しみ、交流を深めました。後半は、スポーツ少年団の体験会が行われ、子ども同士のふれあいも深めました。また、最後に菓子まきもあり、大変盛り上がりしました。



(2) 子ども会育成協議会の取組への協力

11月23日の勤労感謝の日に実施した子ども会育成協議会主催の「なかよしフェスティバル」では、青年のつどい協議会と共同で開催しました。共同開催は今年で2年目になります。垂井警察署や不破消防組合の協力も得て、関ヶ原の仕事体験（土木工事・高所作業車体験、働く車展示 等）を行い、多くの園児や児童が参加し、大盛況でした。



4 終わりに

少子高齢化が急速に進む中、地域の青少年団体等が企画する催しへの子どもの参加が少なくなり、催しの企画さえも人材不足で困難を極めるような時代になってきました。難しいからあきらめるのではなく、少しでも子どもたちが地域の中で交流を深められる活動を1つの青少年団体単独で企画するのではなく、複数の団体が協力してより魅力的な内容を企画する必要があります。今後も、健全な青少年の育成に向け、団体と団体の連携がし易い小さな町の強みを生かし、活動を工夫していきたいと思えます。